



第 71 回 KSE 技術交流会報告書

会長 正木 忠
技術委員長 野村 毅

第 71 回 KSE 技術交流会が、2025 年 7 月 15 日に大阪府建築健保会館 5 階会議室にて開催されました。今回は「設計事例紹介」を主題として、KSE 正会員である構造設計事務所による過去の設計事例を紹介して頂きました。

最初に、株式会社ワイズ設計の遠藤大介様から「AW検定協会の検定業務」について、AW 検定の歩み、組織や活動内容の他、技量検定試験の流れや種類を紹介して頂きました。技量試験では、工場溶接、現場溶接、鋼管溶接、ロボット溶接オペレーターについて詳しく解説いただきました。高度な技量が要求される現場溶接では AW 有資格者が係わった方が良いとのこと。



次に、株式会社馬瀬構造設計事務所の竹内誠様と正木忠様から「S造の子ども園耐震改修概要」について、他の構造事務所が耐震診断と補強計画した建物の第三者評価を取得することになり、既存図も不明なところが多く現地の状況に応じて担当委員に相談しながら評価取得したことや、意匠側の要望で外壁やサッシュをなるべく残すように補強したことを現場写真と共に解説して頂きました。

最後は、株式会社フレームワークスの柳井真治様から「任意形解析を用いた諸検討」と題して、midasiGenを使用した検討を数例紹介していただきました。1 例目は、歴史的な重要文化財の木造刑務所の構造的な特徴やモデル化、各構造部材の耐力特性について、その他の事例として、既存レンガ壁の耐震性、RC 造建物外壁の対津波荷重の応力検討、風力発電の風車本体の解析、既存杭の応答変位法による検討について解説していただきました。検討目的を明確にし、荷重や境界条件など適切な設定が必要とのこと。



実務に役立つ内容が多く、とても有意義な交流会になりました。

参加者：35 名